



第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者：全国大会委員会

2023 年度全国大会の開催日・開催場所が決まりました。

開催日：	2023 年 8 月 29 日（火）～ 8 月 31 日（木）
開催場所：	近畿大学（東大阪キャンパス） https://www.kindai.ac.jp/

是非ご発表・ご参加をご検討ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<https://www.kindai.ac.jp/access/>

<最寄り駅まで>

- JR 新大阪駅～近鉄大阪線・長瀬駅まで約 45 分
- JR 新大阪駅～近鉄奈良線・八戸ノ里駅まで約 40 分
- JR 新大阪駅～JR 俊徳道駅まで約 30 分

<最寄り駅から近畿大学まで>

- 近鉄大阪線・長瀬駅から徒歩約 10 分
- 近鉄奈良線・八戸ノ里駅から徒歩約 20 分、バス約 6 分（直行バス、近鉄路線バス）
- JR 俊徳道駅からバス約 15 分（直行バス）



2022 年度 第 5 回研究会 開催案内

担当者：佐々木 整，三石 大，高木 正則，鷹野 孝典，光原 弘幸（研究会委員会）

■テーマ：

教育 DX と実世界指向学習環境／一般

■開催日時：

2023 年 1 月 21 日(土)

■開催場所：

拓殖大学 文京キャンパスおよびオンラインハイブリッド開催（完全オンラインになる可能性あり）

交通アクセス <https://www.takushoku-u.ac.jp/access.html>

■趣旨：

本年度第 5 回研究会は「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」のテーマで実施いたします。携帯情報端末や高速無線通信，存在感を有して知的に振る舞うロボット，身の回りの様々なモノをコンピューティングの対象とする IoT，実世界と仮想世界を融合した学習環境を提供する MR/VR/AR など，新しい教育学習環境を切り拓く技術が次々と社会に浸透しており，このような新技術は教育学習環境を大きく変えようとしています。

また，世界的なコロナ禍の影響で，教育学習環境のオンライン化が一気に加速し，教育現場における DX への関心が急速に高まっています。このような学び方や教え方のパラダイムシフトの必要性や可能性を実感する一方で，実際にその場に訪れ，人やモノと接することでしか得られない学びを提供する実世界指向の教育学習環境の重要性も指摘されています。

こうした教育学習環境の急速な変化を踏まえ，第 5 回研究会では「教育 DX と実世界指向学習環境」について，そのための教授設計も含め，システム・基礎技術の開発，実践，ならびに，新しい教育・学習手法に関する研究発表を募集し，共に考える議論の場としたいと考えています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

オンライン（Zoom）のアクセス先は、参加申込時に送信されるメールに記載されます。

また、会場校での参加希望の方は別途申し込みが必要となります。

事前参加申込（研究報告の購入）の開始は 12 月 15 日(木)9 時を予定しております。開始時刻以降に、学会ホームページの第 5 回研究会開催案内にある「申込者ログイン」から手続きを行ってください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

※会場校での参加希望の方のみ

○会場参加申込

今後の感染状況によって会場校の来場者数を制限する場合があります。会場校での参加をご希望の場合は 2023 年 1 月 16 日(月)までに、上記事前申込に「加えて」下記 URL にて予め会場参加申込をお願いします（来場者数の上限に達した場合は、その時点でフォームを閉鎖いたします）。

<https://forms.gle/VRfx6kgAmEcxTLRu7>

■お問い合わせ先：

佐々木 整（拓殖大学，第 5 回研究会担当委員）

E-mail: jsise-sig-5th[at mark]googlegroups.com

（[at mark]の部分は，半角の「@」に変えて下さい）



2022 年度 第 6 回研究会 講演募集

担当者：浅羽修丈（北九州市立大学）、尾崎拓郎（大阪教育大学）、
鷹岡亮（山口大学）、永田奈央美（静岡産業大学）、
西端律子（畿央大学）、長谷川理（武蔵野大学）、
山本樹（明海大学）

■ テーマ：

学校段階間での接続を意識したデータサイエンス教育／一般

■ 開催日時：

2023 年 3 月 18 日（土）

■ 会場：

北九州市立大学 北方キャンパス（対面及びオンラインのハイブリッド開催）

＊なお、COVID-19 の感染状況により、オンライン開催のみとなる可能性もあります。オンライン開催のみとする場合、2 月 28 日（火）までに jnews、SNS などにより告知いたします。

＊発表申込後、発表を対面で行うか、オンラインで行うかの事前申請フォームをお送りしますので、どちらの方法でご発表予定かをお知らせください。状況次第で、対面で申請された発表をオンラインに変更することは可能ですが、オンラインで申請された申し込みを対面に変更することはできません。また、発表方法によってプログラムを編成しますので、申込および原稿締切が早くなっています。延長もしませんので、各種締め切り日を必ずご確認ください。

■ 趣旨：

数理・データサイエンス・AI はデジタル社会の基本的な素養として、文理を問わず全ての学生にとって、あらゆる分野で活躍するために必要となる知識・技術であり、AI・ビッグデータ・IoT 等の急速な技術革新とともに、社会のあらゆる場面でデジタル・トランスフォーメーションが進む中、その必要性は益々高まっています。

また、今年度より高等学校の学習指導要領も新しくなり、高等学校情報科においては共通必修科目「情報Ⅰ」が新設され、全ての生徒がプログラミングやネットワーク、データベースの基礎等について学習することとなりました。さらに、選択科目「情報Ⅱ」では、プログラミング等について発展的に学習することとなります。既に新学習指導要領となった中学校においては「技術・家庭科（情報に関する技術）」を中心に、小学校においては各教科でのプログラミング教育（プログラミング的思考の育成）が実施されるなど、初等・中等教育においても情報活用能力の育成が重視されています。

そこで第6回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「データサイエンス教育の実践と校種を越えた情報活用能力育成」に関連する研究発表を募集します。対象は、データサイエンス教育や情報活用能力の実践に限りませんので、データサイエンス教育に関係するシステムや、プログラミング教育環境の開発などについてもぜひご応募ください。

その他、教育の情報化に関連した研究発表や本学会の取り扱う領域における一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■ 発表申込締切：

2023年1月10日（火）【延長いたしません】

■ 原稿提出締切：

2023年2月10日（金）【延長いたしません】

■ 発表時間等：

発表時間は25分（発表17分、質疑7分、入れ替え1分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

2021年度研究会より、研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4000円/年）または、各回の研究報告の購入（1000円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

Zoom開催の場合のアクセス先は、申込受付メールに送信されるメールに記載してあります。

■ 研究報告執筆フォーマット：

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

北九州市立大学 浅羽修丈（第6回研究会担当委員）

E-mail：jsise-sig-6th_at_googlegroups.com（「_at_」は、半角の「@」に変更してください）



2022 年度 特集論文研究会 講演募集

担当者：学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

■ テーマ：

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

■ 開催日時：

2023 年 3 月 18 日（土）

■ 会場：

北九州市立大学（対面及びオンラインのハイブリッド開催）

＊なお、COVID-19 の感染状況により、オンライン開催のみとなる可能性もあります。開催形式の変更がある場合、jnews、SNS などにより告知いたします。

＊発表申込後、発表を対面で行うか、オンラインで行うかの事前申請フォームをお送りしますので、どちらの方法でご発表予定かをお知らせください。また、第 6 回研究会と連携をしながら、発表形式、会場の制約にもあわせてプログラム編成を行うため、各締め切りを厳守いただきますようお願いいたします。

■ 趣旨：

現代は、先行きが見通せない予測困難な時代、また持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代でもあります。従来からの価値のみに縛られず、新たな課題の発見・解決を通じた「価値創造」に対応できる人材の重要性が増してきています。それとともに、価値観が多様化し、複雑さを増す現代という時代において、一人ひとりが自身および他者の良さや可能性を認めつつ、協働的に社会の課題へ取り組む必要性も謳われています。このような時代・社会からの要請に対して、「答えのない課題解決に挑む」人材をどのように育成していくのか、は我々にとって喫緊の課題の一つと言えます。そこで、答えのない課題解決に挑む学びを促進し、支援するため教育システム・デザインの提案・実践また、それらの取り組みを加速するための教育 DX に寄与する先行的な取り組みに注目します。

そこで、「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどの発表を広く募集します。ここには、「問題解決支援」「PBL」「ディスカッション支援」「アイディアソン・ハッカソン」「グループ学習」「ポートフォリオ」「パフォーマンス評価」「リフレクション」「メタ認知」「学習科学」「デザイン研究」など多くのキーワードと関わる研究が含まれます。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究も歓迎いたします。

■ 発表申込締切：

2023 年 1 月 10 日（火）

■ 原稿提出締切：

2023 年 2 月 10 日（金）

■ お問い合わせ先：

千葉工業大学 山崎治（学会誌編集委員）

E-mail: yamazaki[at mark]net.it-chiba.ac.jp （[at mark]は，半角の「@」に変更してください）



学生研究発表会発表募集（第1報）

担当者：人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を開催する予定です。開催方式を含め、スケジュールの最新情報ならびに申し込み方法は、今後、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております。

申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月はじめを予定しております。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者：学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo.3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2023年7月1日発行予定となります学会誌Vol.40, No.3につきましては、【2023年4月21日（金）】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。また、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートを新たに作成しております。原稿および必要事項の提出は、Google フォームを用いて行うようにしております。執筆要領&原稿テンプレートのご確認および原稿提出に関しましては、下記 URL よりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2023年4月21日（金）（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol.40, No.3, 2023年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：
<https://drive.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBlk3rinKqe7Qsc>
原稿提出（Googleフォーム）：
<https://forms.gle/bjSbqUr8o4p646349>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 山崎 治（千葉工業大学）
E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp
（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2024 年度発刊 特集号論文募集

担当者：学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

論文投稿締切：2023 年 6 月 1 日（木）（予定）

2024 年 4 月 1 日 発行（予定）

これからの社会に求められる「新たな価値の創造」に対応できる人材の育成を支える教育システム・デザインの提案・実践、また、それらの取り組みを加速する先駆的な教育 DX の取り組みに関する論文を募集します。

現代は、「先行きが見通せない予測困難な時代」「持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代」といわれています。価値観が多様化し、複雑さを増す社会における喫緊の課題として、新たな課題の発見・解決を通じた価値創造に対応できる人材の育成が挙げられています。従来からの価値のみに縛られず、「答えのない課題」に挑戦し、解決していく人々を支えるための教育システム情報学領域からのアプローチを、本特集を通じ、広く社会に発信していきます。

1. 対象分野

「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」「PBL」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどを広く募集します。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究論文も歓迎いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研究会（2023 年 3 月 18 日（土）開催）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2023年6月1日(木) 【予定】
採録通知予定： 2023年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 41, No. 2, 2024年4月1日発行 【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。
詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

特集論文研究会： 2023年3月18日(土)
会 場： 北九州市立大学 (対面及びオンラインのハイブリッド開催予定)
発表申込 締切： 2023年1月10日(火)※
原稿提出 締切： 2023年2月10日(金)※

(※ 今回の研究会は、対面とオンラインの両形式を行いながら第6回研究会と連携してプログラム編成を行う必要があるため締切厳守をお願いいたします)

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪公立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 後藤田 中(香川大学)
幹 事： 高木正則(電気通信大学)， 田中孝治(金沢工業大学)，
山崎 治(千葉工業大学)
幹事補佐： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 津森伸一(聖隷クリストファー大学)，
山元 翔(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 山崎 治(千葉工業大学) E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) Vol.3 への掲載原稿を募集しています. この ITEL では, 我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに, 国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています. ITEL は, J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです. 研究対象は, 教育システム情報に関連した領域全般はもちろん, 様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます. 投稿後, 原則, 7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています. 短期間で, 革新的な研究成果, ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです. 学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております.

- 論文種別: 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ),
実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ),
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ),
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>
- 投稿締切: 1 年中投稿を受け付けています.
- 投稿要件:
 - ・論文は他学会において査読中でないこと, そして, その主要部分が未発表であること. ただし, 国際会議, 学会の大会, 研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます.
 - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが, 本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます. 投稿者が 2 名以上の連名の場合は, そのうち少なくとも 1 名が会員であれば, 掲載料に会員価格が適用されます.
- 原稿執筆要領: ITEL Web サイトに, 執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています.
- 投稿方法: < [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ・ITEL Web サイト上から, 電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい.
 - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は, まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい.
 - ・投稿論文は, 論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい.
 - ・投稿論文は, 投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け, 証明書提出を推奨しています.
- 査読方法:
 - ・投稿論文の査読は, JSiSE 英文誌と同様に, シングルブラインド制で行われます.
 - ・査読者は 2 名で, 査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ).
 - ・評価項目は, Originality (新規性), Usefulness (有用性), Reliability (信頼性), Presentation (明瞭性) の 4 項目となり, JSiSE 英文誌と異なり, 査読中に投稿論文の種別変更はありません.
 - ・投稿者の希望に基づき, JSiSE 英文誌と同様, 日本語で査読コメントを受けることもできます.



2022 年度 第 3 回研究会 開催報告

担当者：安間 文彦（サイバー大学）、三好 康夫（高知大学）、小西 達裕（静岡大学）

- テーマ：対面・オンライン・ハイブリッド授業支援／一般
- 開催日時：2022 年 9 月 30 日（金） 10:00-16:15
- 開催方法：Zoom を用いたオンライン開催
- 発表件数：10 件
- 参加者数：27 名

2022 年度第3回研究会は、9 月 30 日に Zoom によるオンラインにて「対面・オンライン・ハイブリッド授業支援／一般」というテーマで開催されました。発表件数は 10 件で、27 名の方々にご参加いただきました。朝 10 時から夕方 16 時過ぎまでの研究会となりましたが、どの時間帯も Zoom 会議には多くの参加者からの接続があり、発表後の質疑では活発な議論が行われました。

テーマに関連する研究発表としては、オンデマンド型授業での学生発表と相互評価を取り入れた実践報告、フルオンライン授業での反転授業の設計に関する報告、外国語学習環境における VR 動画活用に関する報告、プログラミングの授業に学生による相互評価を取り入れた実践報告、グラフィック・シラバスを活用した授業実践報告などがありました。それ以外にも、IT パスポート試験を受験する外国人留学生の学習支援のための試験問題内容分析や、防災教育を支援するシステムに関する研究、日本におけるテレワークの現状分析、日本における無人店舗の展望に関する研究、教職課程の学生に対する研修プログラムの効果測定など、様々なテーマでの発表が行われました。発表者の皆様や参加者の皆様のご協力により、接続トラブルなどもなく円滑に研究会を進行することができました。ありがとうございました。

なお、第3回研究会で発表されたタイトルは以下の通りです。

- 日本の組織慣習とテレワークの親和性について
- 日本における無人店舗の今後の展望について
- VR 動画のコミュニケーション練習への利用可能性に関する予備的検討
- グラフィック・シラバスの提示による科目の体系性の理解促進
- 出身地域外の防災教育を支援するシステムの調査・提案
- プログラミング学習における基礎的概念を評価対象とした相互評価実験の実施と分析
- 語の出現頻度と難易度に着目した IT パスポート試験の分析
- Moodle, YouTube を活用した動画による学生発表と相互評価に関するオンデマンド型授業実践
- フルオンライン型反転授業の設計と評価
- 山口大学教育学部ちゃぶ台研修の効果測定の結果報告(2)



2022 年度 第 4 回研究会 開催報告

担当者：研究会委員会 長谷川忍，柏原昭博，小尻智子，曾我真人，松浦健二

■テーマ： スキル開発とその支援技術／一般

(※情報処理学会の教育学習支援情報システム (CLE) 研究会と併催)

■開催日時： 2022 年 11 月 4 日 (金)，5 日 (土)

■開催場所： オンラインおよび徳島大学常三島キャンパスによるハイブリッド開催

■研究会 CFP・プログラム：https://www.jsise.org/society/committee/2022/CFP_4th.html

■概要

2022 年度第 4 回研究会は、11 月 4 日(金)，5 日(土)の両日で、「スキル開発とその支援技術／一般」をテーマに開催されました。開催方法として完全オンラインになる可能性も考慮しつつ準備を進めましたが、オンライン参加と会場校現地参加でのハイブリッド運営で実施されました。さらに、数年ぶりに情報処理学会 CLE 研究会との合同研究会（併催）であり、ハイブリッド・合同(併催)研究会として、多少複雑な運営になりました。準備・運営等でご助力いただいた皆様，ご発表・ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。なお，会場の収容可能人数に上限があり，それによって通常の研究会参加申込に加えての現地参加申込を両研究会で設けることになりましたが，その現地参加申込は研究会自体への参加申込とは独立した時期・手続きとなりました。現地(徳島)出張を期待して現地参加が適わなかった皆様には分かりにくい部分もあったかと思います。この場にてお詫び申し上げます。

さて，開催報告の概要として，発表件数，セッション構成，および参加者数については，以下の通りです。ハイブリッドで合同という性質上，片方の学会・研究会のみメンバになられている参加者，両学会・研究会ともにメンバとなっている参加者，いずれも非会員といった大枠での枠組みに加え，学生会員，非会員，会場校参加者等々の細かな違いが運営サイドには生じましたが，参加された皆様は概ね適切に行動いただけたものと思います（そういう意味で下記は大枠での計数）。なお，両方参加者の中で片方のみに参加申込をされた方もおられ，その辺りは運営する側の事後集計は多少複雑でしたが，そのような経験知も蓄積できました。

- ・発表件数：全体で 31 件（JSiSE が 16 件，IPSJ/CLE 研が 15 件）
- ・セッション構成：全体で 10 セッション(シングル)（JSiSE と IPSJ/CLE で各 5 セッション）
- ・参加者数：全体で 80 名弱（JSiSE の参加登録は 42 名，うち現地参加 20 名）

最後に，今回の研究会の内容ですが，両学会でテーマを合わせた CFP としました。結果，多数のスキル学習支援に関するテーマが集まりましたが，一般テーマでの発表も興味深いものが集まりました。特に，スキル学習支援においては，プレゼンテーション，プログラミング，料理，医療・看護・保育，語学，運転などの多数の学習文脈や対象領域がとり上げられ，技術的には機械学習，ロボット，ゲーム，脳波，テキスト解析，チャットボット，VR など先進的技術開発や技術適用も図られています。技術は個人に非依存概念ですが，これら技術援用による訓練・学習・経験の過程で個人毎にアダプテーションや

テーラリングがなされることで技能習得につながるということを改めて認識できる研究会となりました。以下は JSiSE 研究会で取り上げられた発表題目一覧です(全体のタイトルは Web 掲載のプログラム等をご参照ください)。今後もこうした研究領域の広がりや深まりが学術として進展することを期待しています。

- 視線と教材視聴の関係に着目したオンライン学習環境の設計
- プレゼンテーション課題の改善プロセスにおけるメタ認知活動
- 適応的エンゲージメント促進支援ロボットの開発と評価
- 機械学習を用いたプリンタインクヘッド交換時期の予測
- 「ものグラミング」手法のプログラミング教育への応用
- 没入型 VR を利用した大量調理シミュレータの開発
- 脳波・小テスト・アンケートを用いた少人数授業における集中度と理解度の変移
- 大学院を置かない大学での卒業論文の指導・支援方法に関する論考
- ReBaLe における発想支援システムの開発
- ノベルゲームを用いた語学学習環境の開発と効果の検証
- オンライン上でのロボットプログラミングの協調学習を促進するエージェントシステムの研究
- インタラクティブロボット講義における注意・理解リカバリとその評価
- 発達障害児童の「教える」勉強法による学習効果に関する研究
- 保育者の危険察知意識と危険防止スキルに関する一考察ー水遊び場面の動画を活用したシステムの運用を通じてー
- 潜在保育士の就職に向けたシステムの提案ーマッチングシステムへの教育機能追加ー
- 安全運転講習における意識・認知の向上支援



2022 年度研究会開催スケジュール

担当者：研究会委員会

2022 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (<https://www.jsise.org/society/committee.html>) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の变革／ヘルスケア分野 の DX 人材育成／一般	終了	オンライン開催	終了	
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	終了	北星学園大学（北 海道札幌市）	終了	終了
第 3 回	対面・オンライン・ハイ ブリッド授業支援／一般	終了	オンライン開催	終了	終了
第 4 回	スキル開発とその支援技 術／一般	終了	徳島大学（常三島 キャンパス） オンライン ハイブリッド開催	終了	終了
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2023 年 1 月 21 日（土）	拓殖大学（文京キ ャンパス） オンライン ハイブリッド開催	終了	2022 年 12 月 14 日（水）
第 6 回	学校段階間での接続を意 識したデータサイエンス 教育／一般	2023 年 3 月 18 日（土）	北九州市立大学 オンライン ハイブリッド開催	2023 年 1 月 10 日（火）	2023 年 2 月 10 日（金）
特集	「答えのない課題の解決 に挑む学び」を支える教 育システム・デザイン	2023 年 3 月 18 日（土）	北九州市立大学 オンライン ハイブリッド開催	2023 年 1 月 10 日（火）	2023 年 2 月 10 日（金）

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

広報からのお知らせ



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2022 年 11 月 29 日現在，フォロワー数 262 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています．本ページでは，論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2022 年 11 月 29 日現在，いいね 525 件，575 人フォロー

Twitter，Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください．



国際会議のご案内

- 2023 年 3 月開催

SITE 2023: 34th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催期間 : March 13-17, 2023

開催地 : New Orleans

URL: <https://site.aace.org/conf/>

- 2023 年 7 月開催

EdMedia + Innovate Learning Summit

開催期間 : July 10-14, 2023

開催地 : Vienna, Austria

URL: <https://www.aace.org/conf/edmedia/>



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料に**させて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2022 年 9 月 17 日～2022 年 11 月 24 日）

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
樫本 弥生	正会員	郭 静姝	学生会員
阿部 朋恒	正会員	鐵 みゆき	正会員
大場 はるか	正会員	河瀬 雅弥	学生会員
市村 由起	正会員		

（計 7 名）